

順天堂大学 一般選抜

小論文

☆【2024年2月 順天堂大学医学部一般A入試】[小論文問題]

【問題】

下の写真を見て、日本では民族の多様性が重視されているが、そうでない国も多くある。この二人が交わしているだろう言葉を用いて、私達へのメッセージを800字以内で述べなさい。

【写真】人種統合教育【ピューリッツァー賞】

ルイビル・クーリエ=ジャーナル・アンド・ライムズ紙写真部：人種統合教育
1976年 特集部門より

【解答例】

この写真において重要視したいのは公平性、平等であることではないだろうか。二人のうち、どちらか一人に偏った内容の記事は書かないように努めなければならないであろう。教室で白人と黒人の生徒が手を取り合う姿である。彼らの絆には社会のしがらみや歴史的な背景は無用なのであろうと推察できる。

写真の中の二人の少年は、今まさに握手をしようというタイミングであると認識できる。『二人は人種や肌の色の違いを超えて、「お互いに助け合っていこうね。勉強にせよ、スポーツにせよ、日常生活のいかなる局面においても、人間は一人では生きていけないのだから、支え合い協力し合いながら明日に日々を生きていこうね。』というような声を掛け合い、握手をして結束を固めようとしているのではないだろうか、と考察できる。

この写真だけでは、社会的事情を詳細に解釈し解説するようなことはかなり難しいかもしれない。だが写真の内容を丁寧に読み解こうと努め、また、この写真が1976年「人間統合教育」というテーマで表現されているという事や、広い教室の中でたった二人の少年が向かい合って握手をする瞬間の構図は、人種を超えて意思疎通する事の意義と素晴らしさと、世界平和を守っていかなければならないのだという訓戒のようなものまで、声なき声で教えられているような思いを抱かないではいられないのである。

この地球上のいかなる国であれ地域であれ、たとえ人種の違いがあっても其の全てを尊重し、多様性のある『人種統合教育』を実践していかなければならないのである。国の違いや人種の違い、肌の色の違い、言葉や生活習慣の違い等は、それらが存在すること自体を認識し合って、相手をこの世の中や世界において必要な存在なのであるという寛容な心を持つ人間であろうと努めることが重要なことなのではないかと私は考えている。(800字)

【解説】

写真は『人種統合教育』の名で1976年にピューリッツァー賞を受賞した、米ケンタッキー州レイビルの地元紙であるレイビル・クーリエ＝ジャーナル・アンド・ライムズ紙に掲載されたものである。

アメリカには長く人種差別の歴史があった。1954年に連邦裁判所はアメリカの学校における「人種分離は不平等である」という、いわゆる「ブラウン判決」を下したが、それは表向きのことであった。特にBusing（強制バス通学）によって、白人の多い地区から黒人の多い学校へ、黒人の多い地区から白人の多い学校へ通うことへの拒否反応は大きかった。

米南部にあるケンタッキー州レイビルの地元紙は、この状況をできるだけ公平に伝えるため、Busingの問題といくつかの写真を掲載した。そのうちの1枚が今回出題された白人生徒と黒人生徒が手を取り合う写真である。

そうした背景を詳しくは知らなくても、世界のあちこちで人種差別、特に黒人差別があったことは歴史として知っている人がほとんどだろう。白人と黒人の少年が同じ教室にいて、手を取り合おうとしている構図から読み取れることはたくさんあるはずだ。

- ・窓からは明るい日差しが差し込んでいる。（よく晴れた日）
- ・教室には植物が置かれている。（平和の象徴？）
- ・他に生徒の姿は見えない。（放課後？）
- ・白人生徒は机に何かを広げているように見える。（課題か何か？）
- ・黒人生徒は手にノートのようなものを持っている。（同じ課題？）
- ・2人は今にも手を取り合おうとしている。（助け合いの象徴）

写真からはこれらのことが読み取れ、机に向かっている白人生徒に向かって、黒人生徒が助けを申し出ているようにも見える。人種が違う子どもが共に学び、助け合う構図からは民族の多様性の大切さがうかがえる。

テーマは「私達へのメッセージ」ということだが、この「私達」は日本人に限定してもいいが、もっと広く地球に住む私達全員とした方がいい。バックミンスター・フラーが唱えた「宇宙船地球号」の概念を持ち出すのもいいだろう。

いずれにせよ、民族の多様性を受け入れることの素晴らしさを主張するのはもちろんのこと、なぜそれが素晴らしいのかについて、自分の意見をのびのびと書いてほしい。そこに受験生それぞれの個性や価値観が表れることになる。人間はそれぞれ異なる考え方や感じ方を持っており、肌の色や性別、言葉、宗教などによって優劣をつけるのではなく、一人ひとりを尊重していく社会を作っていくことで、今後も「宇宙船地球号」は航行を続けられるのではないだろうか。

【アドミッションポリシーの観点から】

順天堂大学医学部の小論文は一次試験で実施されますが、二次試験の面接官は一次試験で受験生が書いた小論文の原稿用紙を手元に持っています。自分が書いた小論文の内容から面接で質問されることもあるので、アドミッションポリシーは必ず押さえておく必要があります。

順天堂大学のアドミッションポリシーは5つありますが、まとめると以下のようになります。

- ① 思いやりと高い倫理観
- ② コミュニケーション能力
- ③ 課題解決能力
- ④ 国際的な視点
- ⑤ 自己管理・自己研鑽

<https://www.juntendo.ac.jp/admission/admissionpolicy/> を参照

この小論文では特に①の思いやりと高い倫理観、さらには④の国際的な視点をアピールしながら書くとよいでしょう。文化や背景の異なる相手とコミュニケーションを取る際には「相手の立場に立つ思いやり」が必ず必要になります。

また、「国際的な視点から医学・医療の進歩に貢献しようとする熱意を有する人」であれば、多様性を尊重するのは当然と言えるでしょう。よって、それほど背伸びせずとも【私達へのメッセージ】は書けるはずです。

ただ、順天堂大学医学部は小論文で受験生の自由な発想を求めます。無理に医療に結びつける必要はありませんし、妙に堅苦しい内容にする必要もありません。自分の身近な事例や、見聞きしたニュースなどを例に挙げて、素直にのびのびと自分の思ったことを書くと良いでしょう。

ちなみに、順天堂大学のダイバーシティ推薦センターはSOGIへの取り組みを掲げています。SOGIとは「sexual orientation and gender identity」の略であり、出身校・国籍・性別による差別をしない「三無主義」の学風を掲げています。その基本となるのが学是である「仁」の心であり、このことは来年度以降の入試を受ける際にも押さえておいた方がいいでしょう。



メルマガ登録（無料）またはLINE公式アカウント友だち登録（無料）で全教科閲覧できます！
メルマガ登録は左のQRコードから、LINE友達登録は右のQRコードから行えます。



渋谷校 ☎ 0120-142-760 東京都渋谷区桜丘町 6-2	名古屋校 ☎ 0120-148-959 名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK20 名駅前ビル 2F	大阪校 ☎ 0120-142-767 大阪府吹田市広芝町 4-3-4 江坂第1ビル 3F
個別専門館 麹町校 TEL : 050-1809-4751 東京都千代田区二番町 8-20	ビッグバン京都校 TEL : 075-746-4985 京都市下京区下諏訪町 360	医特塾 阿佐谷本校 TEL : 03-6279-9927 東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2 第二大同ビル 2F